

研究班番号【43】  
原作から考える『ハウルの動く城』

国語班: 峰尾 芽依

## Abstract

Comparing "Howl's Moving Castle" with the original "Howl's Moving Castle," the author concluded that director Hayao Miyazaki may have been trying to increase the interest of film-goers by changing the setting and character personalities of the story.

## 要約

「ハウルの動く城」と原作である「魔法使いハウルと火の悪魔」を比較して物語内での設定や人物の性格を改変していることから宮崎駿監督は映画を見る人の興味をより引こうとしたのではないかという結論にいたった。

### 1. はじめに

昔からスタジオ・ジブリ映画の「ハウルの動く城」がとても好きで、「ハウルの動く城」がイギリスの小説家であるダイアナ・ジョーンズによって書かれた小説の『魔法使いハウルと火の悪魔』をもとにして作られたということを知って、映画と原作を比較することで宮崎駿監督の改変意図を考察する研究を行った。

### 2. 研究手法

原作である『魔法使いハウルと火の悪魔』とジブリ映画の「ハウルの動く城」を比較して改変点を探す。次に改変した理由を考察することで宮崎駿監督がなぜ改変したのかを考える。

### 3. 結果

#### 《改変点1》

ハウルの動く城にある4つの場所につながる魔法の扉の上の横木についているダイヤルの矢印が黒を指している時に繋がっている場所が、原作ではハウルの出身地のウェールズであるのに対し、映画ではハウルが鳥の姿になって戦いに行く時に使われていることがわかるだけで、どこに繋がっているかは曖昧になっている。

#### 《改変点2》

原作ではソフィは長女だから出世できないと言われており、終始長女であることにコンプレックスを抱き自分の人生を諦めている感じがあった。しかし、映画ではその設定がなくなっていた。

### 4. 考察

#### 《改変点1》

ジブリ映画である「千と千尋の神隠し」には謎となっている部分がある。例えば、カオナシの正体が明らかになっていないことだ。視聴者に考えさせることでより視聴者の興味を引けるのではないかと考えた。したがって、「ハウルの動く城」でも扉の先がどこに繋がっているか曖昧にして謎を作り、視聴者に自分で想像してもらうことでより視聴者を映画に引き込もうとしたのではないかと考えた。

## 《改変点2》

長女であるコンプレックスは日本になじみのない考えなので、日本人になじみのあるものにするために改変したのではないか。

## 5. 結論

スタジオ・ジブリ映画の「ハウルの動く城」と原作である小説の『魔法使いハウルと火の悪魔』を比較し、物語内での設定や人物の性格が改変されていたことから宮崎駿監督は、日本で映画を見る人の興味を引くために改変し日本人になじみのある考え方にすることでさらに興味をひこうとしたのではないかと結論づけた。

## 6. 参考文献ならびに参考Webページ

大黒茜(2013)宮崎駿『『ハウルの動く城』の価値の再考—『ハウルの動く城』とHowl's Moving Castleにおける戦争描写の比較から—

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ(1986)「魔法使いはハウルと火の悪魔」

柳澤治哉(2008)『『ハウルの動く城』の謎を解く』広島大学日本語教育研究18号43—50頁